

Course number		U-LAS23 10001 SJ48					
Course title (and course title in English)	中国語 I A（文法） C1101,C1102,C1103,C1104,C1105,C1106,C1107,C1108,C1109,C1110,C1111,C1112,C1113,C1114,C1115,C1116,C1117,C1118,C1119,C1120,C1121,C1122,C1123,C1124,C1125 Elementary Chinese A			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Letters Associate Professor,NARITA KENTAROU Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,MATSUE TAKASHI Institute for Liberal Arts and Sciences Associate Professor,LIU,Aiqun	
						Part-time Lecturer,OOGA AKIKO	
						Part-time Lecturer,Lin Shukumi	
						Part-time Lecturer,Yamamoto Hiroshi	
						Part-time Lecturer,YAMADA, Kozo	
						Part-time Lecturer,UEHARA YASUNOBU	
						Part-time Lecturer,MAEDA HISAKA	
						Part-time Lecturer,KOIDE ATSUSHI	
						Part-time Lecturer,NAKAHARA RIE Graduate School of Letters Professor,MIDORIKAWA HIDEKI	
						Part-time Lecturer,MINAMI MARI	
Part-time Lecturer,SUZUKI HIROYUKI							
Group	Languages			Field(Classification)			
Language of instruction	Japanese			Old group	Group C	Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters	2026・First semester	
Days and periods	Mon.2/Mon.3/Mon.4/ Tue.3/Wed.3/Wed.4/ Thu.1/Thu.2/Thu.3/Fri.2/Fri.3/Fri.4/Fri.5		Target year	All students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
本授業は、初めて中国語を学ぶ学生を対象にしたものであり、簡単なスキットと初歩的な文法事項を段階的に学びながら、読む、書く、聞く、話すといった能力を身につけてゆく。この授業では特に文法的知識の習得を目指し、演習の授業と連携したかたちで、授業をすすめる。							

[Course objectives]

中国語の発音体系を身につけた上で、中国語の基礎的な文法事項を理解し、中国語による表現の基礎を身につける。上海などを舞台としたスキットを題材としつつ、広く中国の文化に対する理解を深める。

[Course schedule and contents]

この授業はフィードバック（方法は別途連絡する）を含む全15回で行う。
最初の3回の授業では、テキストの「発音編」に基づきながら、中国語の表音システムであるピンイン（ローマ字綴り）の学習を通じて中国語の発音体系のあらましを習得する。

その後、テキストの「本文編」に基づきながら、スキットと文法事項ごとの例文の学習を通して、正確な文法的知識、基本的な表現力の習得を目指す。前期は発音編と本文編第九課までを学びながら、特に、文法体系の枠組みを理解することをめざす。原則として1回の授業で本文編の1課分を学習する。なお、Web上にも教材の音声を置き、履修生には24時間自由なアクセスを認め、その自学自習を支援する。

本授業は、所定の演習の授業と連携して行われるため、かならずセットで履修しなければならない、この授業だけの履修は原則として認められない。各回において学ぶ内容（発音事項・文法事項）は次のようである。

- 第1回 発音編「中国語の音節構造」「声調」「韻母 その一 単母音」「声母 その一」
- 第2回 発音編「韻母 その二 複合母音」「声母 その二」「韻母 その三 鼻音を伴う母音」「第3声の発音」
- 第3回 発音編「簡単なフレーズ」「声調変化」「軽声」「儿化」
- 第4回 第一課、「人称代詞」「“是”“不是”」「動詞述語文」
- 第5回 第二課、「連体修飾1“的”」「語気助詞“ma”“ne”」「副詞“也”」
- 第6回 第三課、「指示代詞」「形容詞」「動詞“在”」
- 第7回 第四課、「動詞“有”」「介詞“在”など」「数詞と量詞」
- 第8回 第五課、「進行表現“在／正在…(ne)”」「時間詞1“今天”“晚上”など」「選択疑問文“…還是…?”」
- 第9回 第六課、「語気助詞“ba”」「副詞“就”」「副詞“都”」
- 第10回 第七課、「“zheme”“name”」「“想”“打算”“要”」「“一下”」
- 第11回 第八課（前半）、「時間詞2 年・月・日・曜日・時刻」「名詞述語文」
- 第12回 第八課（後半）、「主述述語文」「“一点兒”」
- 第13回 第九課（前半）、「結果補語」「アスペクト助詞“過”」
- 第14回 第九課（後半）、「“不是…ma?”」「“把”構文」
- 《期末テスト》
- 第15回 フィードバック

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

原則として定期試験80%、平常点20%で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。

基本的な語彙・文法事項の理解と、それを用いた表現能力の修得が評価の対象となる。

[Textbooks]

赤松紀彦 他『中国語の世界—上海・2026—』（大地社）

[References, etc.]
(References, etc.) 詳細な学習方法や、辞書及び参考書については、最初の授業や授業の中で紹介する。
[Study outside of class (preparation and review)]
Web上に教材や練習問題の音声を置く。24時間自由にアクセスできるので、必ず授業の前に、音声を聞くとともに文法事項について目を通しておくこと。また、練習問題が宿題となることもある。必ず復習とともに練習問題等の課題を行うこと。
[Other information (office hours, etc.)]
最初の授業において紹介する。
[Essential courses]